

8

テイクワンスアイの11

全40口

1口70万円（総額2,800万円）

関東入厩

●生産：ノーザンファーム ●繋養：ノーザンファームYearling ●入厩予定：奥平雅士厩舎



ジャングルポケット
Jungle Pocket
鹿 1998

*トニービン
Tony Bin (IRE)
鹿 1983

*ダンスチャーマー
Dance Charmer (USA)
黒鹿 1990

*サンデーサイレンス
Sunday Silence (USA)
青鹿 1986

*パーソナルファイル
Personal File (IRE)
黒鹿 1991

*カンパラ
Kampala (GB)
黒鹿 1976

セヴァーンブリッジ
Seyvern Bridge (GB)
栗 1965

ヌレイエフ
Nureyev (USA)
鹿 1977

スキルフルジョイ
Skillful Joy (USA)
栗 1979

ヘイロー
Halo (USA)
黒鹿 1969

ウィッシングウェル
Wishing Well (USA)
鹿 1975

プライベートアカウント
Private Account (USA)
鹿 1976

*ベークシド
Bersid (USA)
青鹿 1978

Kalamoun (GB)

State Pension (GB)

Hornbeam (GB)

Priddy Fair (GB)

Northern Dancer (CAN)

Special (USA)

Nodouble (USA)

Skillful Miss (USA)

Hail to Reason (USA)

Cosmah (USA)

Understanding (USA)

Mountain Flower (USA)

Damascus (USA)

Numbered Account (USA)

Cool Moon (CAN)

Polondra (USA)

23b

牡

黒鹿毛

2011.2.28生

テイクワンスアイ
Take One's Eye
黒鹿 1998

SIRE 父



ジャングルポケット

1998年生 鹿毛 ノーザンファーム産

競走成績: 年度代表馬, 最優秀3歳牡馬, 2歳~4歳時, 13戦5勝, ダービー-JPN1, ジャパンC-G1, 同5着, 共同通信杯-JPN3, 札幌3歳S-JPN3, 天皇賞・春-JPN12着, 阪神大賞典-G22着, 皇月賞-JPN13着, 菊花賞-JPN14着

種牡馬成績: 2003年に種牡馬となる

代表産駒: ジャングル ロケット (NZオークス-G1), トールピー (最優秀2歳牝馬, オークス-JPN1, 阪神ジュベナイルフリーズ-JPN1), アヴェンチュラ (最優秀3歳牝馬, 秋華賞-G1, クイーンS-G3), トーセンジョーダン (天皇賞・秋-G1, 札幌記念-G2, アメリカJCC-G2, アルゼンチン共和国杯-G2), オウケンブルースリ (菊花賞-JPN1, 京都大賞典-G2), ジャガーメール (天皇賞・春-G1), クイーンズプマンテ (エリザベス女王杯-G1), シェーンヴァルト (デイリー杯2歳S-JPN2), タスカータソルテ (札幌記念-JPN2, 京都新聞杯-JPN2), アプリコットフィズ (クイーンS-G3, クイーンC-G3), フサイチホウオー (共同通信杯-JPN3, 東京スポーツ杯2歳S-JPN3, ラジオNIKKEI杯2歳S-JPN3), トーセンキャプテン (函館記念-JPN3, アーリントンC-JPN3), マジカルポケット (函館2歳S-G3), ルルパンブルー (フェアリーS-JPN3), フレミントン (HBJCホークス ベイ ゴールドC-G3), ヒカルカザブエ (阪神大賞典-G22着), ダイワファルコン (中山金杯-G32着)

POINT ポイント

いわゆる馬っぶりという点では本年度募集馬の中でも屈指の存在ではないでしょうか。上腕から前腕にかけてのボリューム満点の筋肉量、容積のあるトモのつくり、ドッシリと構える胴や背中ラインなど、父譲りのシルエットは大物感たっぷりです。荒々しさを感じる面構えからも見て取れるように、競走馬に必要な適度な気の強さを

FAMILY 母系

母の父 *サンデーサイレンス Sunday Silence は1986年, 米国産, 米で14戦9勝, 米年度代表馬, ケンタッキー ダービー-G1, BCクラシック-G1。本邦チャンピオンサイアー。本邦BMSチャンピオン。【BMS: 主な産駒】ローズキングダム (ジャパンC-G1), アドマイヤムーン (ジャパンC-G1), スクリーンヒーロー (ジャパンC-G1), ヴァーミリアン (ジャパンCダート-G1), レジネッタ (桜花賞-JPN1), アルフレード (朝日杯フューチャリティS-G1)

母 テイクワンズアイは3勝, 登別特別 (芝1200m)。産駒
ロジサイレンス (07 牡 鹿 *クロフネ) 2勝, ㊟
ハッピートゥデイ (08 牝 青鹿 タニノギムレット) 兵庫(公)2勝, 中央入着, ㊟

祖母 *パーソナルファイル Personal File は愛国産, 不出走。産駒
トコア: 3勝, STV賞。産駒
| アドマイヤコマンド: 2勝, 青葉賞-JPN2, 毎日杯-JPN32着, 都
| 大路S-OP2着, ㊟
| インナージョイ: 1勝, すみれS-OP3着, ㊟
シヤドウファイブ: 1勝
フサイチプルミエ: 1勝

曾祖母 *ベアサイド Bersid は米国産, 米23勝, アクサーベン クイーンズH-G3 (2回), 同3着, A. C. E. S (2回), James Herbeuex Mile H, Ak-Sar-Ben Princess S, Quivira S (2回), 同3着, Goldenrod S (3回), 同2着, Ak-Sar-Ben Oaks, Susan's Girl H, 同2着, Molly Butler H, Black Canyon H, アクサーベン コーンハスカーH-G22着, Smart Deb H2着, Secretariat H2着, Sixty Sails H2着, City of Minneapolis S2着, シルヴァー ベルズH-G33着, Matriarch S3着, Good Life S3着, Dahlia H3着, Majorette S3着, Bloomington H3着, アーリントン メイトロンH-G24着。産駒

*リンドシェーパー: 最優秀2歳牡馬, 4勝, 朝日杯3歳S-JPN1, ヒヤシンスS-OP, クローバー賞-OP, 弥生賞-JPN22着, 函館3歳S-JPN32着。種牡馬

ポットアカデミー: 入着。産駒
| マクロプロトン: 北海道(公)3勝, 北斗盃2着, 南関東(公)9勝, スパ
| キングサマーC
| パープルアカデミー: 4勝
| パープルセンリョ: 2勝, ㊟
シルキーハート: 新潟(公)3勝。産駒

| マツノショウマ: 石川(公)6勝, 百万石賞, ヤングチャンピオン, 北國王冠2着, 東海(公)1勝, ゴールドジュニア

*メモラブルグリーン: 不出走。産駒
エイシンイッパツ: 3勝, 東海・岩手・北海道(公)10勝

四代母 ポロンドラ Polondra は米3勝。キャレー ザ ベル Carey the Belle (ディスプレイS-CAN3)の曾祖母

持っており、気合いを表に出しながら駆け回る姿も、また父の現役時代を彷彿とさせます。適度な緩さを持ったトモから繰り出されるバネのあるキャンターは、走る父の産駒に共通する長所といえ、加えてサンデーの肌ジャングルポケットという実績十分の配合が、きっと本馬に大きな勲章をもたらしてくれることでしょう。